

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成27年4月16日(2015.4.16)

【公開番号】特開2015-37679(P2015-37679A)
 【公開日】平成27年2月26日(2015.2.26)
 【年通号数】公開・登録公報2015-013
 【出願番号】特願2014-236111(P2014-236111)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 3 Z

【手続補正書】

【提出日】平成27年2月25日(2015.2.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数種類の図柄が施され、回転駆動される複数のリールと、
 前記複数のリールを個別に停止させるために操作されるストップボタンと、
 定速状態へ移行させる加速制御、該定速状態を維持する定速制御、および停止状態へ移行させる停止制御を、前記複数のリールのそれぞれに対して実行可能に構成されたリール制御手段と、

数値を更新する数値更新手段と、

前記数値更新手段から数値を取得する数値取得手段と、

前記加速制御が実行されるタイミングを遅延させる遅延手段と、を備え、

前記数値取得手段によって前記数値更新手段から取得された数値を用いて遅延量を決定し、決定された該遅延量だけ前記加速制御が実行されるタイミングを遅延させる遅延制御を、前記複数のリールのうちの少なくとも二つ以上のリールのそれぞれに対して実行可能に構成された遊技台であって、

前記数値更新手段は、

決められた数値範囲で数値を更新する更新チャンネルを有するものであって、

前記遅延制御の対象となるリールと同じ数の前記更新チャンネルを少なくとも有するものであり、

前記数値取得手段は、

前記遅延量を決定するための数値を取得するにあたり、前記遅延制御の対象となる他のリールと重複しない前記更新チャンネルから数値を取得するものであることを特徴とする遊技台。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

上記課題を解決するため、本発明の遊技台は、

複数種類の図柄が施され、回転駆動される複数のリールと、

前記複数のリールを個別に停止させるために操作されるストップボタンと、
定速状態へ移行させる加速制御、該定速状態を維持する定速制御、および停止状態へ移行させる停止制御を、前記複数のリールのそれぞれに対して実行可能に構成されたリール制御手段と、
数値を更新する数値更新手段と、
前記数値更新手段から数値を取得する数値取得手段と、
前記加速制御が実行されるタイミングを遅延させる遅延手段と、を備え、
前記数値取得手段によって前記数値更新手段から取得された数値を用いて遅延量を決定し、決定された該遅延量だけ前記加速制御が実行されるタイミングを遅延させる遅延制御を、前記複数のリールのうちの少なくとも二つ以上のリールのそれぞれに対して実行可能に構成された遊技台であって、
前記数値更新手段は、
決められた数値範囲で数値を更新する更新チャンネルを有するものであって、
前記遅延制御の対象となるリールと同じ数の前記更新チャンネルを少なくとも有するものであり、
前記数値取得手段は、
前記遅延量を決定するための数値を取得するにあたり、前記遅延制御の対象となる他のリールと重複しない前記更新チャンネルから数値を取得するものであることを特徴とする。